

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	リーディング3	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース(キーボード)	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	材毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	金澤法皇	実務経験の有無・職種	有 音楽講師、鍵盤講師、鍵盤奏者		
<b>学習目的</b>					
この科目を受講する学生は、鍵盤楽器におけるあらゆる基礎となる知識、奏法について学び、プロとして必要な演奏技術と、プロとして最低限の読譜力を養うのが目的です。実際には各楽器（ギター・ベース・キーボード・ドラム）、ヴォーカリストコースの学生と同じ課題曲を練習し、アンサンブルの力・ステージングを学んでいく。					
<b>到達目標</b>					
この科目では、学生が鍵盤楽器の様々なジャンル（ポップス・ロック・ソウル、R&B、ジャズなど）奏法を学ぶ事と、曲づくり、アレンジにおいて必要なことを鍵盤を使って学び実践して行く事を目標とします。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	この授業では、鍵盤楽器を使って様々な音楽的素養と、演奏技術、そして特に読譜力を養うのが主な目的であり、それに伴い、作曲、アレンジ技術も身につける。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	実践形式での授業内で理解度を把握するので、実施しない		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するためにたまに実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
<b>授業計画 (1回～15回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	1年次の復習	1年時に培った技術のおさらい、7thコードの初見			
2回	楽曲ごとの読譜1	様々なジャンルの曲の読譜、ポップス、ロック中心			
3回	楽曲ごとの読譜2	様々なジャンルの曲の読譜、ソウル、R&B、ジャズ中心			
4回	7thコードのテンション1	7thコードのテンションの基礎			
5回	7thコードのテンション2	7thコードのテンションの実践、初見			
6回	テンションコード1	テンションコードの基礎			
7回	テンションコード2	テンションコードの実践、初見			
8回	楽曲ごとのテンションの使い分け1	様々なジャンルごとのテンションコードの使い分け、ポップス、ロック中心			
9回	楽曲ごとのテンションの使い分け2	様々なジャンルごとのテンションコードの使い分け、ソウル、R&B、ジャズ中心			
10回	ポピュラー音楽でのテンション感	主に洋楽と邦楽のリーディング的思考の相違と、テンション感の使い分け			
11回	ジャズ、R&B1	ジャジーなサウンドの楽曲のコード分析と初見の解説			
12回	ジャズ、R&B2	ジャジーなサウンドの楽曲のコード分析と初見を課題曲を使用して実際に演奏			
13回	テンションコードの初見1	実際の現場に近い形での初見演奏			
14回	テンションコードの初見2	実演の総復習 リハーサル・ステージング			
15回	まとめ	総復習 アンサンブル形式で他楽器・ヴォーカリストコースの学生と合わせる			